

大いなる飛躍へ

 JA上川中央

初春

2017

NO.106

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125

Tel(01658)6-5315

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

編集・営農部 営農振興課

1



新年にあたり

上川中央農業協同組合
代表理事組合長

野 口 昇

組合員並びに御家族の皆様新年おめでとございます。皆様方には御健勝で輝かしい新年をお迎えのことと存じます。心からお慶び申し上げます。重ねて農協事業には格別の御協力を頂き衷心より厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、3月までの高温で融雪は比較的早く進み農作業も順調に終え、加えて生育期間もおおむね天候に恵まれました。しかし7月末の大雨水また台風風の直接上陸を経験する年となりました。また8月下旬以降の日照不足傾向も追討ちをかけ、農政事務所発表の作況指数102に対し現場に於いては品質的に若干目減り傾向が見られました。7月末には愛別・上川地区は河川氾濫による水害に見舞われ、道内に眼を移すと十勝地方として南富良野地方と台風被害は近年にない爪跡を大地に遺しました。農産物が自然の恵みの中で育まれる事を痛感させられる1年となりました。更に早い雪の到来で一部作物の刈り残しが出て生産者の生産意欲を殺ぐ結果となりました。他の農産

物については全国的異常気象や天候災害の影響を受けて、特に大根・人参・馬鈴薯等の根菜類が大幅に値を上げ収量減少を補う結果を見ました。

きのこ類の販売については店頭販売等での拡充を図り、全道的にその動きを展開している処です。しかし夏の需要減退期の営業展開には更なる技量が試されている感があります。

また畜産酪農市場では本年度も高値基調が持続し、それぞれの経営の軸がぶれないことが望まれます。それにしても今年度は農政改革から農協改革へと視点が変わる、規制改革推進会議から発せられた提言の内容が、新聞マスコミを賑わせました。農業には縁遠い委員の口から吐かれた言葉が一人歩きをし、農協運営の根幹までが論じられました。(1)全農の生産資材等の購買事業の見直し(2)農産物販売に於いて1年以内に委託販売を廃止し全量を買取販売に転換すべし(3)自らの名義で信用事業を営む地域農協は3年後を目途に半減させる(4)部の例外を除き組合員に提供さ

れている組合員勘定取引を即時廃止すべし。(1)～(4)の提言に加えて「牛乳・乳製品の生産流通等の改革に関する意見」も付議され現在の生乳集荷指定団体制度の補給金取扱い部分にも言及されました。結果、農林関係合同会議が開催され「TPP継続検討12項目及び指定生乳生産者団体制度」を取り纏め今後のプログラム策定にあたっての決議がなされ、今後時間を掛けての論議が予想されます。急進的な結論は持越し案件となり、規制改革推進会議は今後も農業分野への提言を止める事はないでしょう。70年の長き歴史を持つ農業協同組合にも変革が必要な部分はあるでしょう。総てを批判するだけの時代は終焉です。

農業者地域を牽引する担い手の皆様の傍に農業協同組合があります。地域を大きくリードして来たのか新年にあたり猛省の時です。最後に本年が鳳凰の羽ばたく様な1年であり穏やかな豊穡の秋であることを願ひ、皆様の御健康を願ひ新年の挨拶と致します。

謹賀新年

代表理事組合長	野 口 昇
代表理事常務	木 村 悦 明
理 事	久 保 田 幸 夫
理 事	大 村 正 利
理 事	辰 巳 眞 人
理 事	清 野 英 一
理 事	岩 城 一 憲
理 事	山 中 護
理 事	鉢 呂 悟
理 事	青 木 光 晴
信用担当理事 兼金融部長	奥 智 尚
代表 監事	関 行 男
監 事	田 中 敏 明
員外 監事	奥 山 勲
内部監査室長 兼総務部長	須 賀 成 浩
金融共済課長	井 上 裕 也
営 農 部 長	奥 山 春 彦
兼上川支所長	
営農販売課長	福 島 慶 喜
営農振興課長	中 川 清
購買 部 長	鈴 木 隆 之
購買 課 長	竹 本 広 伸



平成二十九年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものよりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところと見えます。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を

整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決

議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが

問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取り組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたる先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるよう努力して参ります。

結びになりますが、今年の干支は丁酉（ひのと）です。一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのこととあります。今年は、この西年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。



JA上川中央 青年部



愛別支部 部長

高田 峰雄

新年のご挨拶

新年あけましておめでとございます。本年も無事に迎えられることを喜びます。また昨年は組合長をはじめ多くの方にお力添えを頂き、有意義な青年部活動ができたことに感謝申し上げます。

一年間を振り返りますと昨年はこれまで以上に勢力的な活動ができました。青年部として初の試みである7月の秋田、宮城県への視察。大潟村の青年部は非常に意識が高く私たちも大変刺激を受けました。大潟村の組合長は、40代と若く農協は農家が育てなければならぬという言葉が心に残りました。

きのこの里フェスティバルでの百姓探も30周年ということもあり、愛別のお米だけでなく大潟村と宮城県のお米も用意し三種食べ比べにチャレンジしました。部員の反対や失敗もありましたがよい経験ができました。

11月の上川管内青年部大会において、これら二つを題材にした活動実績発表を行いました。水谷雅仁さんの発表が見事、最優秀賞を獲得し、また年間テーマも2年連続の最優秀賞を頂きました。そして、12月の全道大会に管内の代表者として参加し、800名を超える観衆の中、立派な発表をしていただきました。残念ながら全道の代表者には及びませんが、とても誇りに思っております。

そして、一年の締めくくりとして勉強会と忘年会を行いました。講師に中央会旭川支所の菅匡基氏をお招きし、29歳と若いながらも農政に精通しており協同組合の意義についても講演頂きました。忘年会には2年続けて農協職員も参加され、昨年は組合長にも参加して頂きました。今後、職員と我々のコミュニケーションとなる場の一つとして、継続していきたいと思っております。

多くの災害に見舞われた昨年は、改めて収穫のありがたみを痛感いたしました。また農政も予断を許さない状況が続いております。生産者としての技量もさることながら広い視野を持つ人間力の向上が重要性を増していると感じます。青年部活動が活発化し、意義あるものとなるよう仲間たちと高め合いたいと思っております。今後とも青年部にご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



上川支部 部長

古関 浩之

新年のご挨拶

新年明けましておめでとございます。

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は青年部活動全般にわたり、皆様のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、雪解けが早く進み、植え付け時期は天候も恵まれ幸先良く中盤の管理作業まで順調でしたが、収穫時期の8月に北海道に4つの台風が直撃しました。上川町でも田んぼが水没するといった被害がありました。さらに雨も多く、収穫が遅れ10月の下旬では早い降雪で収穫ができなくなるといった被害もありました。昨年は想定外の天候に農作物が左右される年になりました。

昨年の青年部活動は、豊穰祈願祭・収穫感謝祭はもちろん、勉強会に札幌視察研修と上川支部の活動を通して交流ができ、親睦も深めることができました。愛別支部とも7月に合同道外視察で秋田県と宮城県の視察と、勉強会・札幌視察にも参加・交流ができました。これからもお互いに良い関係でいきたいと思っております。

益々農業を取り巻く環境は厳しくなりますが、皆様が手と手を取り合い、協力・団結し、青年部部員の皆様はもちろん、組合員の皆様並びに各関係機関の皆様と一つになり、この上川がさらに盛り上がりげばと思っております。

最後に、本年も皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。さらに本年は天候に恵まれ豊作の年になりますようご祈念申し上げます。



JA上川中央 女性部



愛別支部 部長

柴田 美代

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族そろって新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、日頃より女性部組織活動に対して、組合員の皆様・ご家族・役員・関係機関の方々の、深いご理解と温かなご支援に心より感謝申し上げます。

昨年の女性部活動としては、冬の上川支部との合同宿泊研修、夏の一日研修では劇団四季「ウィキッド」観賞・千歳鶴見学、秋には愛別支部が主催となり他6町村でBブロック研修会が開催されました。部員のみなさんに協力・参加していただき、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

一方昨年は、夏の大変な台風で作物や施設など大変な被害に遭い、秋には収穫目前にして雪の下になり、例年より早い雪にガックリ肩を落としたことでしょうか。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。今年は自然災害のない、自然が味方になってくれることを願っています。

一方農政への不安や女性部組織の全国的な部員の高齢化や減少による将来活動への不安などいろいろありますが、今後も女性部として話し合いの場を増やし皆様と力を合わせた組織活動に取り組んでいきたいと思えます。

沖繩の方言で一言、「チハロー」頑張ろうです。

本年も組合員の皆様、ご家族、女性部に携わっていただく方々が健康ですばらしい年でありませうようにご祈念申し上げて年頭の挨拶とさせていただきます。



上川支部 部長

辰巳 明美

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。女性部の皆様にはご家族御揃いで健やかに、賑やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また常日頃女性部活動に対し格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本当に自然災害の多い年でした。4月の熊本地震に始まり、4つの台風が北海道に上陸し多くの深い傷跡を残し、10月からの大雪により大豆などの農作物が雪の下になりました。12月に入ると鳥インフルエンザが流行し、沢山の鶏が殺処分されました。農業を営む者としては、本当に手痛く辛い年でした。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

また被災地への支援の呼び掛けを快諾し、物資や義援金を集めるなど、ご協力を賜りました皆様方には心より感謝申し上げます。

そうした大変な状況ではありましたが、青年部との「トラボ事業として10月10日」に開催された「かみかわ秋の大収穫祭」では、上川管内産の農産物でつくった「かみかわカワカワ」の販売や「あぐり王国」と「トラボした」おにぎりギネス記録挑戦など大盛況となりました。その日までのギネス記録を塗り替えて、1273個のおにぎりを一緒に結んだ消費者の方々が、きつと農業に関心を持って北海道農業のサポーターとなってくれたのではないかと思います。

また、昨年は上川支部創立60周年事業として、手作り記念誌の発刊をすすめて参りました。部員の皆さんに原稿執筆のご協力をいただき、2月の総会にはお手元に届くよう頑張っております。記念誌の編集作業をするなかで、60年を紡いできた諸先輩方の思いを胸に、初心を忘れず皆さんと共に未来を紡いでいきたいと改めて感じております。

結びになりますが、昨年の干支は「申（さる）」ということですが、自然災害などの沢山の災厄が過ぎ「去る」年でありました。一方で本年の「酉（とり）」には、運氣などを「取り込む」という意味があります。JA上川中央女性部が皆様の沢山の思いを取り込みながら、各関係機関の皆様にご指導・鞭撻いただき、大きく羽はたける2年となるようにご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と代えさせていただきます。



同年代の交流を… JA上川中央青年部上川支部町外視察研修

11月23日～24日、札幌恵庭方面にて上川支部の町外視察研修を行いました。今年も愛別支部からも参加し交流が図られました。

今回の視察は、「ルーキーズカンパニー」という恵庭市・千歳市・北広島市の若手農業者を中心として活動している団体との情報・意見交換。また、7月に行われた愛別支部との合同道外視察研修で訪れた秋田県大湯村青年部の来道があり懇親させていただきました。どちらも同年代同士の交流でお互いに農業について熱い想いを語り合い・刺激し合い大変貴重な研修となりました。



問題意識を持ってコミュニケーションを… 平成28年度コンプライアンス研修会



平成28年11月24日に、平成28年度コンプライアンス研修会が愛別町蔵らにおいて開催されました。

本年度は、JAカレッジへ講師依頼をしたところ、専任講師である菅崎秀弘氏に講師を務めていただくこととなりました。

講演では、『コンプライアンスの本質とそのポイント』をテーマとし、不詳事例を交えて熱のこもった講演を丁寧に説明頂きました。

出席した役員並びに職員は、現在の仕事を慣行に流されず、一人一人が問題意識をもってコミュニケーションを多くとれる職場環境が大切との認識を、再確認することができ有意義な研修会となりました。



初めての料理教室でみんな笑顔に… JA上川中央女性部フレッシュミズ料理教室

11月25日、成田副部長宅をお借りしてフレッシュミズ料理教室が8名の参加により開催されました。

内容はトマトソース作り。水谷部長・成田副部長・昔農部員が夏の間に収穫し、今日のために冷凍しておいたトマト40kgと玉葱4kgを使い5時間ほどかけて完成しました。40kgのトマトの皮むき、玉葱のみじん切りをあめ色に炒めるために5台のガスコンロを使いながらの調理はなかなか大変でしたが、業務用の鍋に出来上がった沢山の真っ赤なトマトソースは、一流レストランで食べるトマトソースに負けないくらいの贅沢なソースが出来上がりました。

お昼には、そのトマトソースを使ったパスタと、陰山部員手作りのかぼちゃのチーズタルト、昔農部員が作ったりんごケーキをいただき、仕事や家事に追われる毎日のちょっとした合間に、沢山のしゃべりをしながら楽しいひと時を過ごしました。

当日は、2名のお子さんの参加もありましたので、JA女性部上川支部の辰巳部長にもベビーシッターとして参加いただきました。ありがとうございました。

今回の料理教室は初めての企画でしたが大変好評でしたので、来年度以降も続けていけるように企画していきたいと思っております。





「やるなら今しかねえ！」 第65回全道JA青年部大会



12月1日～2日、札幌パークホテルにおいて、第65回全道JA青年部大会が開催され、「JA青年部実績発表大会」の上川地区代表として出場する、発表者：水谷雅仁君、パワーポイント操作者：佐々木孝志君の応援に、愛別支部10名・上川支部1名の部員が駆けつけました。

800名を超える盟友・関係者がいる中、また、出場地区6地区中最後の発表というプレッシャーもありましたが、堂々と落ち着いて発表できました。残念ながら全道代表の切符は逃してしまいました。

実績発表大会の他にも、青年の主張大会・分科会・講演会もあり、青年部大会に参加した事、実績発表大会に向けて部員一丸となって取り組めた事が、何よりも大きな収穫となりました。

28年産そ菜生産を振り返って 愛別町そ菜振興協議会・上川町畑作園芸振興会合同作況反省会

12月8日、愛別町そ菜振興協議会・上川町畑作園芸振興会合同作況反省会が生産者23名と市場および日頃よりお世話になっている関係者も招き、本所で開催されました。

反省会では、市場関係者から平成28年度の出荷実績をもとにした今後の販売動向、ホクレン旭川支所から大豆の販売概況、上川農業改良普及センターからトロ箱溶液栽培システム「ういずOne」の実施報告と今後の課題についてお話いただきました。

青果全般で低温や長雨などの不順な天候により、平均単価は前年以上となった作物が多くありました。また、面積や数量の減少もありました。29年度は高品質なそ菜の安定生産に努めていきます。



魅力ある女性部活動にむけて～楽しく健康に過ごす～ 平成28年度JA上川地区女性部研修大会



12月9日、JA上川地区女性部研修大会が旭川グランドホテルで管内各地から約120名が集まり開催され、当女性部からも8名が参加しました。

講演では、『順番も大事！片付けからはじめる「あったかい生前整理」』と題し生前整理普及協会 竹腰認定指導員にメリットやタイミングについて事例も交えながら教えていただきました。

研修では、「調体体操の底力～調体体操で肩こり・腰痛の無い生活を!」と題し、進伝心プロジェクト 岩岡代表・JAひがしかわ 笹村内部監査室長による調体体操をみんなでを行い、日頃の疲れや痛みを和らげました。

～調体体操については、JAひがしかわのホームページにのっておりますので一度やってみてはいかがでしょうか～

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のおピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！北海道農業応援スペシャル！」（11月3日）を通して、農業の魅力を一日中発信し続けました。

寄せられたメッセージは4,566件。内田副会長がグリーンツーリズム等についてお話をされた、カーナビラジオ公開生放送には、のべ400名が来場と、大盛況。

スマートフォンアプリ「JA2MP」では、道内の生産者や直売所を巡る中継キャラバン等の期間限定お宝画像も発信。地域との繋がりが感じられるサポーター550万人づくりへの貴重な一日となりました。



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として「農業経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之氏が所属する㈱クリエイティブオフィスキユー鈴井代表に「道内農業の魅力の再発見と発信」を、学習院女子大学 江口名誉教授に「道内農業に求められるマーケティング発想」を講演頂き、参加者からは「農業経営のヒントを得た」「農業の魅力を探る姿に感銘を受けた」等好評を頂きました。



ホクレン

全道のホクレンSSで平成28年7月～9月に展開した「2016『ラブ&ハート』チャリティキャンペーン」に寄せられた募金と一部売上の、総額300万円を北海道社会福祉協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キャンペーンは、社会貢献活動「ホクレンシーズプロジェクト」の一環。道内約780の児童保育施設に、絵本や文学書の購入費用としてご利用いただけます。



JA共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金をご請求していただく場合、診断書取得・提出をいただいておりますが、所定の条件を満たせば「治療報告書制度」による自己申告と領収書提出のみで共済金をご請求いただけます。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮できるメリットがございますのでご利用ください。ご利用条件については、ご加入先のJAへお問い合わせください。

JA北海道厚生連

平日に時間がとれない方へ、完全予約制の土曜日健診を開始しました。

【旭川】毎月第2・4土曜「土曜ドック」を実施。（男性対象・各種オプション検査可能）随時予約受付中ですので、お電話でお問い合わせください。（TEL 0166-33-7171）

【札幌】毎月第2土曜に「脾臓・胆のうドック」を実施中。（TEL 011-251-5713）
【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。（TEL 0155-24-4161）



JA北海道厚生連のお得なキャンペーン

対象商品 3,000 円 (税込) 毎のご購入で

北海道のおいしい 幸せプレゼント

応募葉書をお渡しいたします

毎月20名
合計120名

抽選で北海道のおいしい食品満載の
ホクレンギフトカタログをお届けします。
野菜、お米、お肉、加工食品、乳製品、水産物、麺類、お花など
豊富なギフトの中からお選びいただけます。

キャンペーン期間

平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

応募方法

キャンペーン期間中に対象商品のご購入 3,000 円 (税込) 毎に、
専用応募葉書を配置業推進員よりお渡しいたします。
葉書にご住所、ご氏名、電話番号をご記入のうえ、投函してください。

抽選方法

キャンペーン期間中の各月毎にご応募いただいた葉書を厳正な抽選のうえ、当選者を決定します。
なお、キャンペーン最終月平成 29 年 3 月分のご応募は、平成 29 年 4 月 5 日消印まで有効とさせていただきます。

賞品のお届け

当選者決定後、各月毎に賞品をお届けします。
なお、賞品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。



対象商品 ■ 野菜酵素青汁 ■ 草苺譜Ⅱ・Ⅲ ■ 黒しょうが 21 世紀 ■ 青の賢沢

配置業のご案内等は税別価格の表示ですが、本キャンペーンでは税込 3,000 円以上購入者が対象のため
税込で表示しております。対象商品の詳細は裏面にご案内しております。

商品、本キャンペーンに関する
お問い合わせは

JA北海道厚生連 医薬事業部配置業課

フリーコール **0120-99-4193** (通話無料)

受付時間 平日 8:30 ~ 17:00

商品のお求めは配置業推進員まで

古 屋 弘 美
(こ や ひろ み)

01658-6-4235

JAのあゆみ

12月

- 1日 農協懇談会(上川地区全体) 第65回全道JA青年部大会 (札幌市 ~2日)
- 5日 JA女性部上川支部 地区部長会議 第3回半年JA監事監査(9日)
- 6日 上川地区連合会長農事組長合同会議 愛別町之支援興協議会・上川町畑作園芸振興会合同作況反省会
- 8日 旭川東青色申告会農業部会総会 JA上川地区女性部研修大会
- 9日 JA青年部支部合同勉強会
- 13日 愛別町農業青色申告会税務研修会 愛別町農業者年金協議会 代議委員会・研修会
- 19日 農家経済対策委員会 定例会会議
- 20日 上川町農業再生協議会 幹事会
- 26日 上川町農業法人報告会 愛別町農業青色申告会 年末調整講習会
- 27日 第11回定例理事会
- 30日 愛別町農業再生協議会正副会長会議 辞令交付
- 31日 総務・営農・金融・購買部 仕事納め 給油所 仕事納め

組合員のうごき

(平成28年11月24日現在)
 正組合員戸数 364戸
 総組合員数 2,538名
 正組合員数 570名
 うち団体数 34団体
 准組合員数 1,968名
 うち団体数 68団体

第10回定例理事会

平成28年11月24日開催

- 1 報告事項
組合員の脱退について
12件の脱退について報告した。
- 2 各委員会の報告について
第3回農家経済対策委員会開催の内容を報告した。
- 3 内部審査協議会監査の結果について
本支所の営農振興・営農販売で実施された内容について報告した。
- 議 事
- 1 組合員の加入報告並びに組合員資格について
1件の加入が承認された。
- 2 第3回半年見直し計画について
見直し内容について説明し、承認された。
- 3 臨時給与の支給基準について
支給基準について承認された。
- 4 農事組合活動助成金等の支出について
活動助成等の単価について承認された。
- 5 平成28年産飼料用米に係る仮渡しについて
平成28年対象数量に対する仮渡金について承認された。
- 6 ハウスリース資産の取得並びに貸付について
1件に対する取得並びに貸付が承認された。
- 7 規定の一部改正について
就業規則改正1件が承認された。
- 8 短期資金の融資について
1件の融資について承認された
- 9 理事に対する長期資金の融資について
2件の融資について承認された
- 10 酪農畜産支援助成事業極度額の変更について
2件に対する極度額変更が承認された。

今月号の表紙

清らかに流れる石狩川

1月31日(火)棚卸による
営業時間変更のお知らせ

事業年度末の棚卸業務により、営業時間を変更させていただきます。皆様にご不便をおかけしますが、ご理解よろしくお願い致します。

- 1月31日(火)
・資材店舗(本所・支所)・農機センター 休業
・ホクレン給油所(愛別・上川)
8:00 ~ 17:00 短縮営業

精米所よりお知らせ

年末年始の営業につきまして、12月号の営農販売と同様になりますが、改めてお知らせいたします。

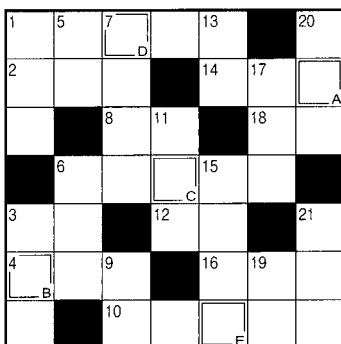
- 12月30日(金)
12:00まで
(1月3日まで休業します)
- 1月4日より通常業務となりますが、10日は16:00までとなります。

お知らせ

今月の「すろーライフ」については休載といたします。再開は2月号からです。



パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 1 ひょっとことよく対にされます
- 2 英語でいうファミリー
- 3 凹がオウなら凸は
- 4 金剛力士のこと。あうんで一對このわたりや盗盗もこの一種
- 5 大豆は畑の——といわれます
- 6 物は——と新製品を買ってみた
- 7 牛乳を温めると表面にできます
- 8 足の末端のこと
- 9 京都・祇園の宴席に花を添えます
- 10 一年の——は元旦にあり
- 11 ダイヤンや練り物、ゆで卵などをだして煮込んだ料理
- 12 正座をしていて切れることも

ヨコのカギ

- 1 子どもが楽しみにしている正月の臨時収入
- 2 昆布と——節でだしを取った
- 3 親子や兄弟でそっくりな人も
- 4 正月に付きものの汁物
- 5 笑うと負けよ、あつぶぶ
- 6 がっかりしたときに落とします
- 7 タイヤにつないでシュッシュ
- 8 ボーダーやストライプ
- 9 落ち葉をかき集める道具
- 10 ノルウェーの画家、ムンクの代表的作品
- 11 忍者が指を組んで結ぶもの

パズル? 頭の体操



解答 A B C D E
 ス ス ハ ラ イ